



埋蔵文化財出土速報 市内初「顔」を表現した遺物 珍品・両面に顔面がある縄文時代の遺物を発見

概要	市内で初めて、縄文時代の「顔」を表現した遺物（顔面把手付土器）の破片が出土しました。県内・全国的に見て出土事例が少なく、また遺物の性質上、珍しい遺物です。愛嬌のあるこの遺物からは、縄文人の美への造詣の深さをうかがい知れることができます（詳しくは、別紙参照）。  顔面^{とって}把手（外向き側）
発見の経緯など	○とき 10月7日午前11時ごろ ○ところ 緑ヶ丘地域（緑ヶ丘三丁目）（市周知の埋蔵文化財包蔵地 No.5 蟹ヶ澤遺跡） ○経緯 市上下水道局による水道管布設替え工事（公共事業）の掘削中に出土 ※埋蔵文化財保護に係る手続きを経た工事で、専門職員が立ち会いました。
公表により期待すること	・埋蔵文化財保護と愛護の啓発、また、市民の郷土愛の醸成に資すること ・大学などの研究機関、市民、歴史・考古学に興味がある近隣市町村住民および県民による考古学研究・郷土史研究に資すること
その他（留意事項）	・文化財保護強調週間（11月1日～7日）に合わせて報道することで、記事が市民など多くの対象者に触れ、文化財保護・愛護の機運が高まると考えています。 ・一般向けの展示および公開は現在のところ予定していません。 ※問い合わせ先と調整の上、写真・動画撮影は可能です。
問い合わせ先	教育部 生涯学習課 市史文化財担当 TEL 046（252）8431 FAX 046（252）4311